

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

寛骨臼を含む骨盤腫瘍に対する患肢温存治療の機能予後と QOL : JMOG 多機関共同研究

現在、整形外科では、岡山大学整形外科が実施する下記研究のために、本学で保管する下記の診療情報等を下記研究代表機関に対して提供しています。

この共同研究の詳細をお知りになりたい方は、下記の本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対して利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本学での問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名] 寛骨臼を含む骨盤腫瘍に対する患肢温存治療の機能予後と QOL : JMOG 多機関共同研究

[共同研究の研究代表機関及び研究代表者]

研究代表機関・研究代表者：岡山大学整形外科 教授 尾崎敏文

本研究に関する問い合わせ先：岡山大学整形外科 講師 藤原智洋

電話：086-235-7273（応対可能時間：平日9時～17時）

[利用・提供の対象となる方] 2006年1月～2021年12月までの間に、整形外科にて寛骨臼を含む骨盤腫瘍と診断・治療を受けられた方

[利用・提供している診療情報等の項目]

診療情報等：年齢、性別、身長、体重、併存症、腫瘍関連情報（組織学的診断名、悪性度、診断日、発生部位、画像所見、腫瘍最大径、臨床病期）、治療関連情報（治療法、治療日、切除範囲の詳細、再建方法の詳細、手術時間、出血量、輸血の有無と量、化学療法の有無、レジメン、放射線治療の有無および照射量）、治療成績関連情報（切除縁、画像評価、周術期合併症の詳細および発生日、合併症に対する治療の詳細、入院期間、再発の有無と発生日、遠隔転移の有無と発生部位と発生日、腫瘍学的転帰、患肢温存の可否、患肢機能スコア、QOL スコア）

[利用・提供の目的]（遺伝子解析研究：無）

この研究では、日本における寛骨臼を含む骨盤腫瘍に対する手術治療および粒子線治療の実態と、治療後の機能を含む治療成績の解明を目的とした共同研究実施

[主な共同研究機関及び研究責任者]

1. 岡山大学医学部整形外科・藤原智洋
2. 日本骨軟部肉腫治療研究会（Japanese Musculoskeletal Oncology Group; JMOG）参加施設より34機関 公式ホームページ <https://www.jmog.website>

[研究実施期間および主な提供方法]

期間：研究機関長の許可日より2026年12月までの間（予定）

提供方法：直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他（ ）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[東京女子医科大学における研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学 整形外科 助教 菅谷 潤

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 整形外科 菅谷 潤

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）

[東京女子医科大学における機関長] 理事長 清水治